

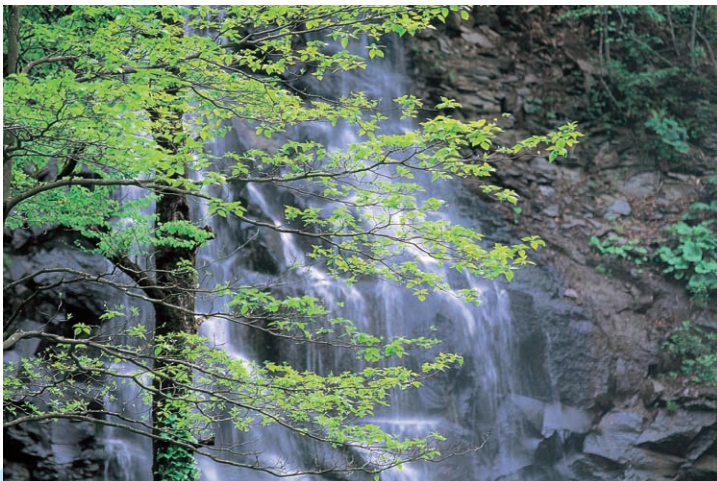


ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

新しい自分との

出会いや発見がきっとある



水辺を歩く (国営滝野すずらん丘陵公園)

目次

- 北海道生涯学習協会平成17年度
第1回理事会・評議員会、及び収支計算書 … 2
- 道民カレッジ・まなびの広場からのお知らせ … 3~4
- 視聴覚センターからのお知らせ … 5
- 2団体からのお知らせ … 6
- 人の動き … 6

平成十七年度第一回理事会・評議員会開催

五月二十六日、平成十七年度の第一回理事会・評議員会が開催され新谷会長の挨拶に続き議事に入り、「平成十六年度事業報告」及び「平成十六年度収支決算、監査報告」が提案され原案どおり承認されました。

また、推薦団体等の人事異動により辞任した理事・評議員の補充について、それぞれ評議員会・理事会で次のとおり選任されました。

議事

- ・議案第一号 平成十六年度事業報告
- ・議案第二号 平成十六年度収支決算、監査報告
- ・副会長・理事、評議員の補充について

新役員

- ・副会長 関 寺 恭 朗 (北海道社会教育委員連絡協議会 会長)
- ・理事 網 規 行 (株)北洋銀行 人事部長
- 佐 藤 光 明 (北海道新聞社 取締役事業局長)
- 鈴 木 政 勝 (北海道公民館協会 会長)
- ・評議員 大 杉 文 夫 (北海道社会教育主事協議会 会長)
- 小 原 信 夫 (北海道高等学校長協会 副会長)
- 袴 田 勝 勝 (北海道青年団体協議会 会長)



平成16年度 収支計算書総括表

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

(単価：円)

科 目	合 計	一般会計	終身特別会費 賛助会費 特別会計	生涯学習 センター 特別事業	進路特別 受託事業	北海道教育 委員会 特別事業	関係法人 受託事業	内部取引消去
I 収入の部								
1 基本財産運用収入	9,008	9,008						
2 事業収入	264,000	264,000						
3 受託事業収入	52,920,218	0		50,947,418		1,972,800		
4 会費収入	2,462,000	2,462,000	0					
5 補助金収入	22,152,969	22,152,969						
6 寄付金収入	0	0						
7 雑収入	80,052	80,022	30		0			
8 借入金収入	0	0						
9 特定預金取崩収入	187,788	0	187,788					
10 繰入金収入	0	187,788						△187,788
当期収入合計(A)	78,076,035	25,155,787	187,818	50,947,418		1,972,800		△187,788
前期繰越収支差額	1,119,941	1,119,941	0	0		0		0
収入合計(B)	79,195,976	26,275,728	187,818	50,947,418		1,972,800		△187,788

科 目	合 計	一般会計	終身特別会費 賛助会費 特別会計	生涯学習 センター 特別事業	進路特別 受託事業	北海道教育 委員会 特別事業	関係法人 受託事業	内部取引消去
II 支出の部								
1 管理費	19,410,180	19,410,180						
2 事業費	5,899,689	5,899,689						
3 受託事業費支出	52,920,218	0		50,947,418		1,972,800		
4 繰入金支出	0		187,788					△187,788
5 特定預金支出	30		30					
当期支出合計(C)	78,230,117	25,309,869	187,818	50,947,418		1,972,800		△187,788
当期収支差額(A)-(C)	△154,082	△154,082	0	0		0		0
次期繰越収支差額(B)-(C)	965,859	965,859	0	0		0		0

道民カレッジのお知らせ

◎『ほっかいどう学』出前講座

日頃から、道民カレッジ事業の推進にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年で五年目を迎えます道民カレッジ事業は、開設以来、学生数や連携講座数も順当に拡充して参りましたが、受講生の学習成果を活用した北海道の創造に向けた人材の育成を目指し、「ほっかいどう学」を機軸とした新たな取り組みとして、「ほっかいどう学」出前講座を実施することとなりました。

この事業は、「道民カレッジ」の主催講座として、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持つ講師を地域に派遣して、地域課題と取り組む生涯学習を支援する出前講座を実施し、もって地域づくりに貢献する人材の発掘・育成を図ることを目的とした地域づくりの実践講座です。

道民カレッジで学んだ知識や技術を具体的に地域づくりの実践に結びつけていくプロセスを体験的に学ぶもので、従来の受動的な講義形式の授業とは異なり、学習者自らが地域の暮らしや生活課題と密接に関連する学習テーマを設定し、意見交換や

事例発表、パネルディスカッションやグループワークなどのワークショップによる参加型の学習を通じて、積極的に発言するなど、学習プロセスに主体的に参加する姿勢が期待されます。

出前講座の開設を希望する市町村や地域の活動団体から募集し、申し込みのあった市町村の中から、地域事情や受入体勢等を総合的に勘案し、開催地を決定します。

道内六圏域十二回の開催を予定していますが、着々と市町村から申し込みの声が上がっています。

開催地所管の教育局にも支援をいただきながら、市町村の要望に応える学習プログラムを協働で作成していきたいと考えていますので、奮って応募してください。

特に、「北海道遺産」との関わりの中で出前講座を希望される市町村や団体は大歓迎です。

遺産の保護、観光と遺産、遺産と地域づくり等、地域課題をテーマにした応募を期待しております。

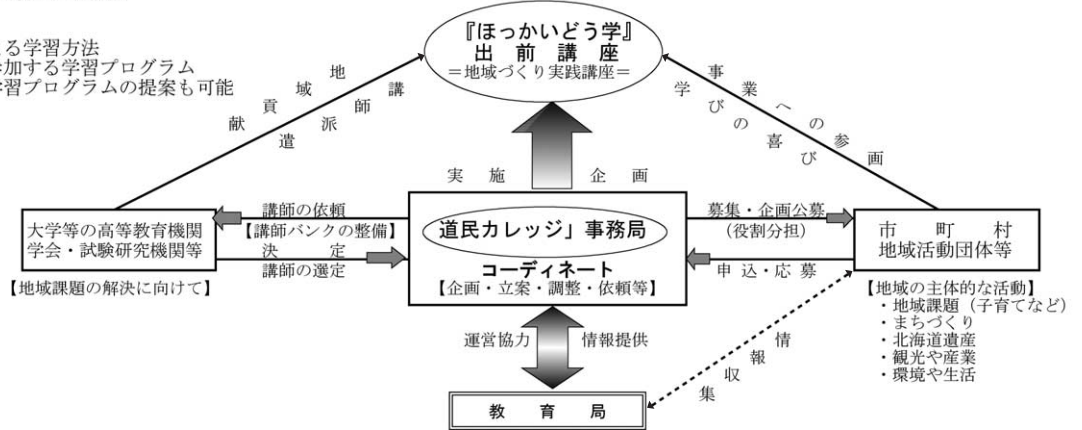
また、子育てや健康づくり、環境問題やボランティアなど、今日的な課題の応募も結構です。

申し込みの締切は、六月三十日(木)です。

◎『ほっかいどう学』出前講座の具体的な取組

★運動としての「ほっかいどう学」

- ◇ 参加型学習プログラムによる学習方法
- ◇ 道民自身が企画・運営に参加する学習プログラム
- ◇ 地域活動団体などからの学習プログラムの提案も可能



◎称号取得者の活用について

○「学習成果活用セミナー」

「学習の成果を生かし主体的に地域活動を行うために」をテーマに、二月十八日に開催しました「学習成果活用セミナー」には、称号取得者五十三名中三十三人の参加を得て、盛会に開催されました。

北海道大学木村純教授から、「称号取得者に寄せる期待」地域の活性化をめざして」の講演後、称号取得者三十三名がグループに分かれ、道民カレッジ事業への感想や今後の活動のあり方等について意見交換をしました。参加者からは、「セミナーを続けてほしい」とか「取得者名簿がほしい」等、積極的な意見交換が交わされました。今年度は、秋・冬の二回程度

○道民カレッジマナビストバンク

称号取得者の承諾を得て、道民カレッジ称号取得者名簿一覧(マナビストバンク)を作成し、道内各市町村教育委員会・教育局・称号取得者に配布しました。ご利用ください。

○道民カレッジ運営委員

今年度、初めて称号取得者から、五郎部 勇さんが道民カレッジ運営委員になりました。活躍に期待!

平成十六年度道民カレッジ事業報告

道民カレッジは、大学等の高等教育機関や市町村などがそれぞれの立場で講座等の提供をしていたものをつなぎ、ネットワークをつくり、そのコーディネーターの役割を果たしながら、道民に情報や学習機会を体系的に提供し、学習した成果が評価され、地域で活用されることを目指しています。

加大学の講座調整、スクーリング・再視聴の実施やテキストの作成等について、五回にわたり開催しました。

二、事業実施状況(三月三十一日現在)

○学生数

- 一五、二三三名
- (男) 六、三五七名
- (女) 八、八七六名

○連携講座数

- ・ほっかいどう学コース 六十三団体 一四九講座
- ・能力開発コース 四十七団体 一五四講座
- ・環境生活コース 九十七団体 二四一講座
- ・健康・スポーツコース 五十三団体 一五七講座
- ・教養コース 一三七団体 五六四講座

○「大学放送講座」実行委員会
テレビを利用した大学放送講座やスクーリングの実施・運営、番組やテキストの作成等について、三回にわたって開催しました。

○称号取得者

- ・学士 六十二名
- ・修士 二十六名
- ・博士 十四名

○「大学放送講座」番組制作委員会
「大学放送講座」の番組作成や参



○大学放送講座

【テーマ：北海道の人づくり、地域づくり】
道民カレッジ「大学放送講座」 北海道放送 (HBC) 本放送 土曜日 5時00分～5時30分
再放送 土曜日 2時40分～3時10分

回数・放送月日	テーマ名	講師名	視聴率	レポート数
第1回10月2日 再放送1/22	脳卒中の予防とリハビリテーション	札幌医科大学 教授 吉尾 雅春	1.6 1.3	411通
第2回10月9日 再放送1/29	市民活動で多様な社会生活を	札幌大学 教授 佐藤 郁夫	1.8 0.7	402通
第3回10月16日 再放送2/5	もうひとつの北海道文学	北海道教育大学 助教授 小林 真二	1.7 1.7	329通
第4回10月23日 再放送2/12	教育におけるeラーニングの活用	北海道情報大学 助教授 藤井 敏史	2.1 1.1	329通
第5回10月30日 再放送2/19	農・水産業の新展開を目指して ～ITの活用を探る～	北海道東海大学 教授 上瀧 實	2.1 1.0	328通
第6回11月6日 再放送2/26	健康の極意	北海道医療大学 助教授 堀田 清	1.5 0.3	332通
				2,131通

◎「まなびの広場展」のご紹介

今年度は、市町村教育委員会を中心に二十団体が参加しました。「まなびの広場」における展示会の内容についてご紹介します。

- 四月・ファーマーズバスケット
- ・国立日高少年自然の家
- 五月・由仁町教育委員会
- ・八雲町教育委員会



《国立日高少年自然の家野外活動展》

- 六月・白老町教育委員会
- ・北海道美術作家協会
- 七月・折り紙フレンドケンケン
- ・全日本美術協会北海道中央支部
- 八月・三笠市北海盆踊り実行委員会
- ・札幌切り絵の会
- 九月・道民カレッジ大学放送講座
実行委員会
- 十月・留萌市教育委員会
(トライアスロン大会)
- ・国立大雪青年の家
- 十一月・細川流盆石札幌支部
- ・日本手工芸レーザークラフト研究会
- 十二月・かでの2・7書と絵手紙サークル
- 一月・北海道文化団体協議会
- 二月・草木染めとスピンドルの会
- ・北海道教育庁生涯学習課
- 三月・沼田町教育委員会

視聴覚センターからのお知らせ

視聴覚センターでは、約五千本の
視聴覚教材（ビデオ・DVD・十六
mmフィルム）を収蔵し・無料で（送
料別）貸出しています。

（一般教材）団体貸出、エ
ルネット・録画教材（個人・団体貸出）

視聴覚センターのHPか
らも直接教材の検索・予約
ができます、アクセスを！
十七年度前期購入の教材
の一部をご紹介します。

〔教育・福祉〕
「絵本読み聞かせ」「ごめん
ね、ミーちゃん」「ノルウ
エーの音楽療法に学ぶ」な
ど

〔教 養〕
「ユネスコ世界遺産新たな
る旅へ」（初収録場所多数）
〔産業・技術〕
「人間はどうやってエネル
ギーと関わってきたか」
〔芸術・芸能〕
「世界・美の旅（世界の美
術館を巡る）」「楽しいムー
ミン一家全五話」「シートン動物記
全五巻」「映画の宝（シネマ・ヨー
ロッパ六巻）」

〔体育・スポーツ〕

「バスケットメソッドⅡ全十巻」

〔家庭生活・趣味〕

「ゆず先生の回想法（一）三」

〔市民生活・国際理解〕

「汚染防止！ノロウイルス対策」

「これならできる健康づくり全三巻」

「山村留学の子どもたち」

「日本の音風景百選全二十巻」

「我が家の交通安全父との約束」

「ここが危ない！振り込め詐欺」

〔学校教育〕

「都道府県庁所在地おぼえマップ」

「ノーベル賞 日本人科学者」

「さまざまな声の魅力」「生きる力」
を育む性教育シリーズ全3巻」

「ホスピスから届きたいのちの授業
シリーズ全三巻」

シリーズ全三巻」



著作権法のビデオソフトや映画フ
イルムの貸出しについて、（社）著
作情報センターは、Q&Aの形式
で、次のように説明しています。

〔Q〕ビデオソフトを図書館の外に貸
出してもかまいませんか？

〔A〕ビデオソフトは通常映画の著作
物と考えられております。

映画の著作物は、有償で
あると無償であるとを問わ
ず複製物を譲渡又は貸与す
る頒布権があり、原則的に
は許諾を得ないと一般の利
用者に貸出ができないこと
になります。

但し、映画以外の著作物
に貸与権が認められた時の
法改正の際、映画の著作物
の非営利、無料貸与につい
ても規程されましたが、貸
与のできる施設を政令で定
める「映画フィルムその他
の視聴覚資料を公衆の利用
に供することを目的とする
視聴覚施設（注）」に限定し、
権利者へ相当の補償金の支
払いを義務づけました。

その政令で定めた施設の中には、
都道府県立や市町村立の公共図書館
が入っていますので、そこでは補償
金の上乗せされた映画やビデオソフ

☆ 著作権法を守っていますか？

トの貸出ができることとなります。
現在ではかなりの本数の映画やビ
デオソフト等が「著作権処理済」作
品として取り扱われ公立図書館等で
利用されています。

なお、権利者と使用者の間で話し
合いの付いていない作品の貸出につ
いては、個別の問題として著作権処
理をしなければなりません。権利者
が許諾しなければ、貸し出せないこ
とになります。

※視聴覚センターでは補償金を上
乗せしたライブラリー価格で購入し
た映画やビデオソフトを各種の団体
に無料で貸出しています。

（注）著作権法施行令

（映画の著作物の複製物の貸与が認
められる施設）

第二条の三 法第三十八号第五項
の政令で定める施設は、次に定める
ものとする。

一 国又は地方公共団体が設置する
視聴覚教育施設

二 図書館法第二条第一項の図書館
三 前二号に掲げるもののほか、国

地方公共団体又は公益法人が設置
する施設で、映画フィルムその他
の視聴覚資料を収集し、整理し、保

存して公衆の利用に供する業務を
行うもののうち、文化庁長官が指
定するもの

「ブックスタート」助成の三年目！
制度を大いに活用をしましょう！

生涯学習協会では、平成十五年
から北海道教育委員会の補助を受け
「市町村ブックスタート助成事業」
を実施しており、本年度は三年目に
なります。

この事業は、市町村の保健センタ
ー等で行われる乳幼児健診の機会
に、図書館司書や保健師などが保
護者に赤ちゃんと絵本を開くことの
大切さや楽しさを伝えながら、読み
聞かせのアドバイスなどの入った「ブ
ックスタート・パック」を無料で手
渡すものです。

この二年間で四十九市町村、三千
四百名の乳幼児に贈呈するブック
スタート・パック購入費の助成を行
いました。

本年度中に「ブックスタート」を
実施する市町村で補助申請を希望
する市町村は、お申し出ください。



町のブックスタート

新しく 仲間入りしました。

北海道社会教育委員連絡協議会と
北海道公民館協会が北海道生涯学習
協会に業務が委託されました。

北海道社会教育委員連絡協議会

全道の市町村の社会教育委員が集
まり組織しているのが、北海道社会
教育委員連絡協議会です。

変化の激しい時代に、よりよい社
会教育活動を推進するために研修会
や大会などを自主的に実施している
団体です。

社会教育委員の任務は住民の意見
を反映し、学習しやすい環境をつ
くり、住民が学習し成果を生かしボ
ランティア活動や仲間づくりをす
すめ、住みやすい地域をつくって
いくことを支援するのが社会教育委員
です。

協議会の主な事業として、七月七
日～八日に「かでの2・7」で北海
道社会教育委員長等の研修会がおこ
なわれます。また、十月二十六日～
二十七日までの三日間、「第四十七
回全国社会教育研究大会」が帯広市
で開催されます。

北海道公民館協会

北海道公民館協会とは、市町村の
公民館に勤務している職員が、公民
館事業を計画するために必要な研
修や大会などを行うために、加盟し
ているのが公民館協会です。

協会の主な事業として、第四十九
回「北海道公民館大会兼全国公民館
連合会北海道ブロック大会」が十月六
日～七日に登別市で開催されます。

また、「第三十七回公民館コーラ
ス」発表大会が、十一月十三日に恵
庭市で開催されます。

人の動き

四月一日付

学習振興課主幹

小林 元 (網走教育局経理係長
から)

学習振興課主幹

谷口 寿光 (日高教育局社会教育
指導班主査から)

視聴覚センター社会教育主事

今 勉 (空知教育局南幌町教委
派遣社会教育主事から)

会計課主査

柳本 勝美 (札幌白石高校事務長
から)

相談員

角 栄玄 (札幌国際情報高校事
務長から)

転出

学習振興課主幹

長内 純子 (生涯学習部文化課主
査へ)

学習振興課主幹

設楽 正敏 (保健福祉部地域福祉
課主査へ)

視聴覚センター社会教育主事

横島 均 (厚岸少年自然の家指
導員へ)

退職

会計課主査 堀井 廣務

相談員 前坂 正幸

編集後記

平成十七年度の事業もいよいよ
スタートします。

生きがいづくり生涯学習促進
事業をはじめ、新たにスタート
いたします「ほっかいどう学」
を基軸とした大学放送講座や出
前講座等、協会事業の拡充を通
して北海道の生涯学習の推進・
充実に努めて参りたいと考えて
おります。

皆様の一層のご支援・御協力
を賜りますようお願い申し上げます。